



CO-OP navi

2011.5 No.710

CONTENTS

緊急特集 被災地と ともに生きる

東日本大震災・現地生協レポート

東日本大震災で被災された
組合員・地域の皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。
本特集では、震災後間もない時期に
生協の仲間たちが、その使命を果たす
ため、頑張る姿を追いました。
なお本誌では、今後も各生協の
復興に向けた取り組みを
継続的に報告していきます。

組合員・ 地域のために 店を開け続ける

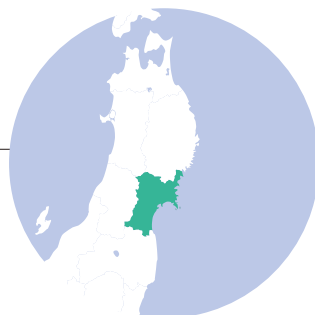
みやぎ生協・ 国見ヶ丘店、虹の丘店

3月11日午後2時46分——

みやぎ生協の店舗は大きな被害を受けた。

しかしその直後から、被災者の「食を守る」ために、
多くの店の店頭で商品供給を開始。

その後も、さまざまな困難を乗り越えて店を開け続け、
人びとに少しでも早く、以前の食卓を取り戻してもらえるよう努力している。



- 1-12 みやぎ生協
- 13-24 いわて生協
- 25-30 コープふくしま
- 31-32 コープネット事業連合

33 たくましく、しなやかに、
ともに誇り高く

35 食の安全、こころの安心

36 コープ共済連からのお知らせ

37 この人に聴きたい
首相夫人 菅 伸子さん

国見ヶ丘店

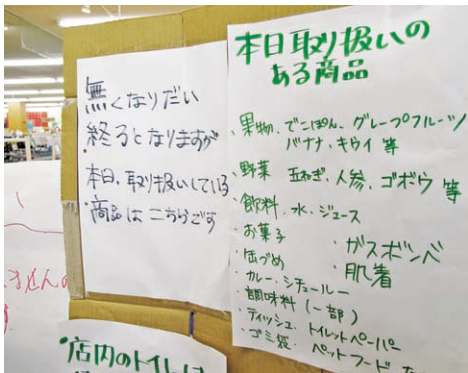
震災後7日目

地震直後から商品供給を続け
メンバーや地域の人びとの
お役に立ちに

みやぎ生協・国見ヶ丘店（仙台市青葉区）では、幸いにして大きな建物被害はなかったが店内は棚から落下した商品で足の踏み場もない状態となり、さらにレジが使用不能になった。しかし、被災したメンバー（組合員）や地域のかたがたのことを考え、震災翌日から3日間は店外にテントを張って、できる限りの商品供給を行なったという。その後2日間は閉店して本格的に売場の点検・復旧に努め、3月17日から店内での部分営業を再開している。

大地震の発生から1週間が過ぎた18

発行日 2011年4月25日
編集・発行人 芳賀唯史
発行所 日本生活協同組合連合会
印刷 日経印刷株式会社
デザイン タクトデザイン事務所



国見ヶ丘店の入口に掲示された「本日取り扱いのある商品」リスト。



3月17日午前10時、前日の雪にもかかわらず、国見ヶ丘店では店を取り巻くように長い行列ができていた。

限られた商品 レジが使用不能の中で 安心してご利用いただくために

日、開店直後にもかかわらず、同店の前には既に1,000人近い行列（ほぼ、店を半周するほど！）ができていた。

しかし商品の入荷はいまだに回復せず、依然としてレジが使用できない状況が続いていた。このため店内での営業はサッカー台手前の通路部分のみだったが、



その分、いろいろと工夫を凝らしていた。例えば、正面入口には大きく「本日取り扱いのある商品」リストを掲示。また売場が極端に狭いため、混乱を防ぐために入店は一度に4人ずつとし、職員がエスコート。メモ帳サイズに切ったPOPやチラシの裏に、その場で代金を書き込み（ほとんどの商品は100円、200円均一）、スムーズな精算ができるようにしている。

また「1人10品までのご利用」という制限があるにもかかわらず、メンバーの



お支払いの様子と手書きの精算書。

来店者の状況を見極め 現場判断で営業時間の変更も

皆さんが落ち着いて買い物をしている様子がとても印象的だった。このような状況が実現できているのも、メンバーと生協が培ってきた信頼関係や、正規職員とパート職員たちのチームワークがあつてこそだと感じた。

この日、国見ヶ丘店では閉店時間（事前案内では、午後5時まで）を早め、

震災から8日後の 仙台市内の状況は・・・

取材者は地震の規模や震度から、仙台市内でも多くの住宅が全・半壊している姿を想像していた。しかし、3月19日の仙台市の中心部は、一見すると建物被害はほとんどないように見えた（もちろん、どの家でも物が散乱して大変だったという）。そのため阪神・淡路大震災のときのような、（瓦が落下したため）ブルーシートで屋根を覆っているような光景は、ほとんど見られなかった。では何が一番、生活再建を阻んでいるかと言えば、それは「生活インフラの停止」だった。

- 都市ガスは市内のほぼ全域で停止
- 水道は市中心部では復旧が進んでいるものの、市全域での復旧は未定
- 店舗の営業再開も遅れており、流通大手で営業しているスーパーはほとんどない状況
- 交通インフラも、新幹線や地下鉄が大きな被害を受けただけでなく、燃料不足が深刻な状況

震災による直接の被害だけでなく、「燃料不足（ガソリン、軽油、灯油）」は市民の生活に大きな影響を与えていた。中でも、通勤や買い物に欠かせない車のガソリンが相当不足しており、ガソリンスタンドも営業しているのは10軒に1軒程度。そのため幹線道路脇には、給油待ちの車で長蛇の列が至る所でできていた。



3月22日の虹の丘店。供給再開した生肉（豚肉）や、ひき肉は文字通り「飛ぶように」売れていく。写真奥が、精肉部門担当の仁藤ひとみさん。



国見ヶ丘店
副店長 伊藤和洋さん

3時30分に閉店している。閉店後の終礼で、副店長の伊藤和洋さんは、

「今日は、朝6時半時点で既に3000人ほどの方にお並びいただけていました。高齢の方も多くいらつしやいましたので、私の判断で閉店時間を10時から9時に繰り上げ、入店までの待ち時間を減らすようにしました。午後3時過ぎには行列もほぼ解消されたので、その分、閉店時間も繰り上げさせてもらいました。これが正しい判断であったのか、本当のところ分かりません。しかし、『商

品が切れ次第、閉店させていただく場合もございます』とテレビでも案内して

いますので、許されることではないかと思えます」と、今日の営業について説明し、職員の頑張りをねぎらった。

この日、みやぎ生協では全48店舗中30店舗で営業を行ない、メンバーや地域の人びとの食とくらしを支えた。そこに、全国一の組織率（69・5％）を成し得た同生協の、地域に対する責任と社会的役割を感じた。

虹の丘店

震災後11日目

生活インフラの復旧に 生鮮品の供給を間に合わせる

地震により、仙台市内では電気や水道、ガスなどの生活インフラは一斉に

停止。その後の数日間、メ

ンバーや地域の人びとにとって水や食料（とりわけ、インスタントやレトルト食品など、簡便性の高いもの）の確保が最大の課題となった。みやぎ生協では店舗を開け続け、これらの商品をできる限り供給することで、人びとの不安の解消に努めたという。

しかしその一方で、生活インフラ（少なくとも電気と水道）が復旧し、ご飯が炊けるようになれば、必ず青果や精肉、鮮魚などの商品需要が出てくると考えた。その時までに商品供給を再開できるように、製造ラインに大きな被害を受けた、生協の生鮮加工センター





虹の丘店。取材時には、コープこくしまの職員が支援に入っていた。



品ぞろえが回復しつつある青果売場(上)と惣菜(揚げ物)売場。

生鮮・惣菜の品ぞろえを回復させ人びとの食卓に貢献する

であるコープフーズ東北の復旧を急いだという。震災から9日後の3月20日にミートセンターが再稼働。その日から精肉パックの生産が始まり、翌21日からは、ひき肉も各店頭に並び始めている。

22日に、部分通常店舗(震災被害が少なく、売場のほぼ全体で営業している店舗)である虹の丘店(仙台市泉区)を訪れた。同店の近隣エリアは前日に水道が復旧したばかりだそうで、今後急速に生鮮食品の需要が回復していくこと

が予想される。

開店直後の駐車場には既に100人近い行列ができていた。同店では一度に30人ほど入店いただき、約10分間自由に買い物をしてもらう方式で営業。納豆や豆腐、生肉、パン、卵など、入荷数の少ない商品を除き、購入数量の制限は解除されていた。しかし、いまだに多くの日配品が欠品し、そのほかの部門でもまだまだ十分な品ぞろえとはいえない状態だった。

だが、青果部門では震災から1週間が過ぎたところから、売場がずいぶん充実してきたという。また、水産部門も解凍品が中心ながら十数種の魚種が品ぞろえされており、多くの人が商品を選ん

でいた。

商品を手に取る人びとの表情に明るさが見えた!

再開したばかりの精肉部門では、ほとんど空の棚に、生肉(豚肉)とひき肉が大きく展開されていた。「1家族いづれか1パック」限定ながら、多くのメンバーが手に取っていた。あつという間になくなっていく商品に、精肉部門担当の仁藤(にとう)ひとみさんは、

「やっと商品が並ぶようになりました。まだ種類は少ないのですが、とてもうれしいです」と話してくれた。また虹の丘店では、この日から惣菜部

門も再開している。開店直後に並んだのは、コロケ、ハムカツ、トンカツなど数品だったが、来店者は待ちわびていたかのようにパックに入れていた。その買い物カゴには果物や調味料などもあった。やはり、生活イ



パン類の入荷は、極めて少ない状態。この日入荷した「食パン」は、「1家族1袋限定」。

ンフラの復旧が進んでいることが、食卓に好影響を及ぼしているようだ。

その後の報告によれば、みやぎ生協の生鮮加工センターは順調に復旧し、震災前の生産水準に近づきつつあるという。

また、4月11日時点での営業店舗は津波による損壊が激しい4店舗を除いた44店舗となっている。そのうち、店内営業で朝10時から21時までの営業店舗が38店舗、店頭販売で朝10時から商品がなくなり次第閉店が6店舗となっている。その売場が充実していくことで、組合員や地域の人びとの食卓が震災以前の彩りを取り戻す日も、そう遠くないはずだ。